

第5回霧島市地域部活動推進協議会協議概要

1 開催期日

令和7年7月15日（火）午後2時から午後4時

2 開催場所

国分シビックセンター霧島市行政庁舎別館3階 教育委員室

3 会次第

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 協議（事務局説明含）
 - ア 国（スポーツ庁）の動向について
 - イ 地域展開（スポーツクラブ）、地域連携（合同部活動）の課題
 - ウ 霧島市の学校部活動の実態
- (3) 今後の地域展開について
- (4) 質疑応答、意見交換
- (5) 閉会のあいさつ

4 報告概要

※ 事務局より説明

- (1) 国（スポーツ庁）の動向について
 - ア 令和5年度から令和7年度までを改革推進期間、令和8年度から令和13年度までを改革実行期間とする。
 - イ 現行の「地域移行」の名称が「地域展開」と変更となる。
 - ウ 最終とりまとめの概略説明
 - ・ 休日については、令和13年度までに原則、全ての学校部活動において地域展開を目指す。
 - ・ 休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できることから取り組む。
 - ・ 令和10年度終了後中間評価を行い、改めて取組方針を定め、更なる改革を推進する。
 - ・ 地方公共団体が各種関係者の理解と協力の下、平日・休日を通した部活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から、地域の実情にあった望ましい在り方を見出し、できることから取り組む。
- (2) 地域展開（スポーツクラブ）、地域連携（合同部活動）の課題について
 - ア 地域展開と地域連携について
 - イ 部活動指導員と外部指導者の違いについて
 - ウ 地域連携と地域展開の長所と短所について
- (3) 霧島市の学校部活動の実態について
 - ア 霧島市の部活動加入率が低下している。
 - イ 文化部においては、やや増加傾向にある。
 - ウ 外部指導者が前年度比3名増

エ 学校部活動においては、前年度比 40 人（運動部 10 人、文化部 30 人）増である。

オ 地域クラブにおいては、前年度比 4 チーム増、生徒数は 40 人増である。

カ 中山間地域の生徒数が減ってきているため、1 校でチーム編成ができない。

キ 中心市街地では、部活動、地域クラブともに生徒数が増加している。

(4) 今後の霧島市の方向性

ア 「部活動における地域連携」と「地域クラブによる地域展開」の両輪で進めていく。

イ 今後の地域展開に向けては、様々なニーズの団体に対して、霧島市が調整役となり、指導者組織と学校との連携を図っていく。

ウ 地域連携について、陵南中と溝辺中の女子バレーボール部の連携を紹介

エ 地域展開について、霧島女子ソフトボールクラブの展開を紹介

5 質疑応答、意見交換概要

(1) 地域展開として、新たな種目を展開しても良いのではないかと。例) ピックルボール。

(2) 中学校音楽研究会のアンケート調査の報告を確認し、吹奏楽に関しては、楽器の保管や移動、購入などの課題があり、簡単に地域展開ができないなどの意見が出た。

(4) 中山間地域の生徒たちの活動場所も考えていかなければいけない。

(5) 今年度より地域展開として活動を開始した霧島女子ソフトボールクラブの運営への質問が多く出た。月にいくら集めているのか、学校の先生はどのように関わっているのか、学校の施設が使えない場合にはどうしているのかなどの質問が出た。

(6) 鹿児島高専との連携もできればよいのだが、指導者が高齢化してきている。